



開通を祝ってテープカットをする関係者

ちんざか 地域を結ぶ「珍坂トンネル」完成

3月23日、養父市八鹿町馬瀬と豊岡市日高町知見を結び一般県道十戸養父線の新ルートが開通し、関係者や地元住民約200人が参加して記念式典が行われました。

本路線の旧道は、車両が通行できない山道のため、これを解消することを望む住民の皆さんの要望に応え、平成13年度に旧八鹿町と旧日高町が事業に着手。その後、兵庫県と養父、豊岡両市が事業を引き継いで整備を進めていました。

今回開通した新ルートは、全長約2800m、車道幅員7mの2車線道路で、そのうちトンネル区間は約1600m。総事業費

は約36億円です。開通により両地域の交流が深まるとともに、災害時における緊急避難路および国道9号、312号の代替路線としての役割が期待されます。

記念式典では、梅谷市長が「両地域の皆さんをはじめ、多くの関係者の熱意によって無事に開通しました。今後は、この道路を利用して、交流を図ることが私たちの責務です」とあいさつ。最後に、関係者らによるテープカットとくす玉割りで完成を祝いました。

「査察広報車」を寄贈いただきました

このたび、たじま農業協同組合および全国共済農業協同組合連合会兵庫県本部から消防査察広報車（トヨタ ランドクルーザープラド・1台）を寄贈いただきました。

3月14日に行われた受納式典では、たじま農業協同組合の田口代表理事組合長が「県下の交通事故死傷者が6年連続して5万人を超えている状況で、交通事故救助活動を支援するために査察広報車を寄贈します」とあいさつ。梅谷市長は「財政状況が厳しい中で、大変感謝しています。大切に使い、市民の安全と安心をしっかりと守っていきます」と謝辞を述べました。

この車両は、病院、旅館をはじめとする防火対象物や危険物を取り扱う施設などの査察と広報活動に使用するとともに、交通事故や山岳救助での緊急時にも出動します。



養父市場河川公園に 水辺施設を寄贈いただきました

このたび、財団法人リバーフロント整備センターから同センターが整備した水辺施設（あずまや、ブランコ、照明灯、ベンチ3基、水飲みなど）を寄贈いただきました。

これは、同センターが日本宝くじ協会の助成を受け、水辺環境の快適さを向上および生物の生息環境の向上を目的に水辺施設を整備し、全国の市町村に寄贈する「水辺施設の設置事業」に、養父市と兵庫県が養父市場に整備中の「養父市場河川公園」が選定されて実現したものです。

寄贈された水辺施設は、同公園内に設置されています。

